



連結損益計算書

(単位: 億円)

区分	2023年度	2022年度	増減
営業収益			
高速道路事業	10,314	9,373	941
料金収入	7,613	7,296	316
道路資産完成高	2,659	2,050	609
その他	42	27	15
関連事業	456	397	58
SA・PA事業	311	269	42
その他の事業	144	127	16
計	10,770	9,770	1,000
営業費用			
高速道路事業	10,268	9,402	866
道路資産賃借料	5,406	5,158	248
道路資産完成原価	2,659	2,050	609
管理費用	2,202	2,193	8
関連事業	402	373	28
SA・PA事業	264	252	11
その他の事業	137	120	17
計	10,670	9,775	895
営業利益(損失▲)			
高速道路事業	46	▲28	74
関連事業	53	24	29
(うちSA・PA事業)	47	17	30
計	99	▲4	104
経常利益	132	16	116
当期純利益 ※1	106	3	102

※1 「当期純利益」には、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。
 ※2 億円未満は切り捨てて表示しています。

主要な経営指標等の推移

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
営業収益 (億円)	10,870	9,309	13,296	9,770	10,770
経常利益又は経常損失(▲) (億円)	96	▲32	79	16	132
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(▲) (億円)	65	▲65	66	3	106
純資産額 (億円)	2,205	2,170	2,260	2,335	2,499
総資産額 (億円)	13,804	16,438	16,483	20,278	25,323
1株当たり純資産額 (円)	2,319.51	2,282.47	2,377.74	2,456.53	2,629.36
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(▲) (円)	68.76	▲69.12	69.82	4.13	111.70
自己資本比率 (%)	16.0	13.2	13.7	11.5	9.9
自己資本利益率 (%)	3.0	—	3.0	0.2	4.4

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を2021年度の期首から適用しており、2021年度以降に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標となっています。
 2. 2020年度の自己資本利益率については、親会社株主に帰属する当期純損失が計上されているため、記載していません。
 3. 億円未満は切り捨てて表示しています。

連結決算実績の解説

1. 高速道路事業

- 管内の高速道路の通行台数は、対前期2.8%増の301万台/日となり、料金収入は、対前期316億円(4.3%)増の7,613億円となりました。
 [新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和2年3月期と比較すると、通行台数及び料金収入は微増となっています。]
- 道路資産完成高は、松山道 東温スマートICの完成や京都縦貫道の移管などがあり、対前期609億円増の2,659億円となりました。
 なお、道路資産完成高は、道路建設にかかった経費と同額の債務を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構(以下「高速道路機構」といいます。)に引き渡すため、道路資産完成原価と同額となり、営業利益に影響しません。
- 高速道路機構に対する道路資産賃借料は、対前期248億円増の5,406億円となりました。
- 管理費用は、労務費や材料費の外注費が増加する中、雪氷対策費などの減少もあり、対前期8億円増の2,202億円にとどまりました。
- 高速道路事業の営業利益は、対前期74億円増の46億円となりました。

2. 関連事業

- SA・PAの飲食物販店舗売上高は、対前期130億円(15.3%)増の979億円となり、SA・PA事業の営業収益は、対前期42億円(15.7%)増の311億円となりました。
 [新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和2年3月期と比較すると、SA・PAの飲食物販店舗売上高は16億円(1.7%)の増となっています。]
- SA・PA事業の営業利益は、対前期30億円増の47億円、関連事業全体では対前期29億円増の53億円となりました。

3. 全事業

- 全事業営業利益は、対前期104億円増の99億円となりました。
- 当期純利益は、対前期102億円増の106億円となりました。



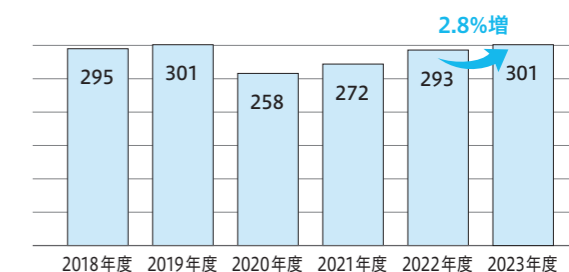
投資家の皆さまとの対話

当社は事業遂行に必要な資金の安定的かつ低利な調達に向けて、投資家の皆さまとの対話を重視しております。その中では事業内容の説明に加え、高速道路事業特有の仕組み・会計について、特に丁寧に説明を行っております。近年では金融機関・機関投資家のみならず自治体や事業会社といった様々な投資家の方からもお支えいただいております。引き続き丁寧な対話に努めてまいります。

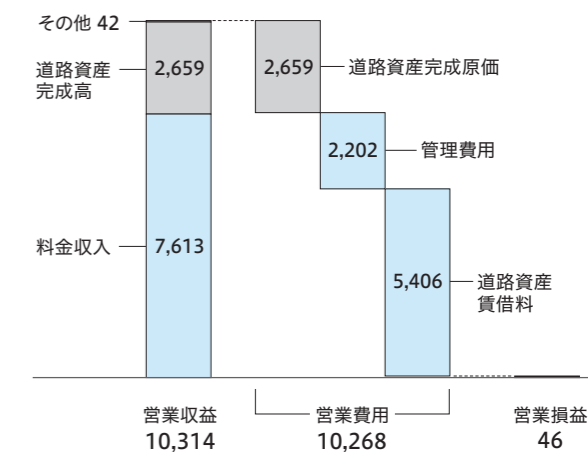


財務部 財務課 西尾 俊亮

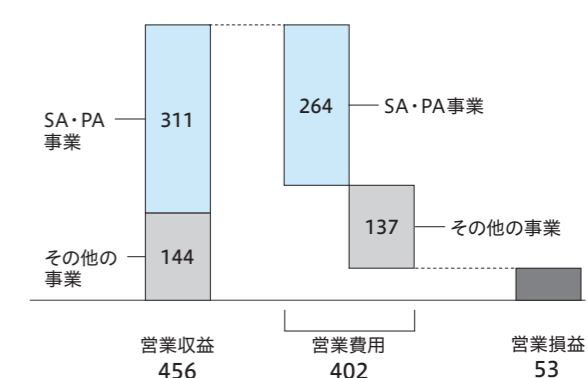
高速道路通行台数の推移 (単位: 万台/日)



高速道路事業の損益 (単位: 億円)



関連事業の損益 (単位: 億円)



※ 億円未満は切り捨てて表示しています。

IR情報

